

## 外郭団体ミッション遂行評価票

【平成27年度取組結果】

団体名	公益財団法人 北九州市芸術文化振興財団
-----	---------------------

所管課	市民文化スポーツ局 文化企画課
-----	-----------------

団体に対するミッション
市民の文化芸術の振興に関する事業や埋蔵文化財の調査、研究及び保護等を行い、市民生活の向上と市民の豊かな文化芸術の創造に寄与する。

行財政改革大綱における見直し内容
市民に様々な舞台芸術を提供する公演事業については、質と量を維持しながら、収益向上策の工夫や事業形態の見直し等により、効率的な運営に努める。 また、同団体が管理運営する施設について、民間でできるものはないかという視点で精査する。一方で、市直営の文化施設のうち、民間で担えない部門については、市に代わって新たな担い手となれるよう、環境の整備を行う。

ミッションに基づく中期計画							
3～5年後に目指す状態	<ul style="list-style-type: none"> <li>市民の多様な文化芸術ニーズに対応し、様々な公演事業や育成事業の実施及び幅広い層への情報発信を行い、地域文化の振興に寄与していく。</li> <li>文化芸術施設の管理運営、並びに文化財保護法に基づいた埋蔵文化財の発掘調査、研究、保存等を行なう。</li> </ul>						
主な成果指標	年度ごとの目標及び実績（太枠は最終目標年度）						
	H26 実績	H27 目標 実績		H28 目標	H29 目標	H30 目標	H31 目標
<観る・聴く> 公演事業の入場率 ①北九州芸術劇場 ②響ホール	①89% ②60.4%	①91% ②65.5%	①88% ②57.7%	①91% ②66.0%	①91% ②66.5%	①91% ②67.0%	前年度水準を維持
<支える> 施設稼働率 北九州芸術劇場大ホール	84%	81%	79%	81%	83%	83%	前年度水準を維持

ミッションの遂行状況の評価（平成27年度）			
団体における評価	効率的な運営、新たな観客の取り込みにつなげるため、芸術劇場、響ホールそれぞれあったチケット会員制度を見直し、平成27年度より新たに「北九州芸術劇場&響ホール チケットクラブQ」として運営を開始した。 また、芸術劇場と響ホールをはじめ、美術館や漫画ミュージアムなど他の文化施設とも連携することで、地域の財産となる文化・芸術を活かした創造的活動の活性化を図った。		市の評価  芸術劇場、響ホールともに年間を通じた公演の入場率は昨年度に及ばなかったが、プロデュース公演などの劇場独自の公演や響ホールで実施した地元音楽家との共同公演、また、他の文化施設との連携事業など本市の特色を生かした公演を展開し、地域の文化芸術振興を図ったことは評価する。 また、入場率向上のため、2施設のチケット会員制度の統合を図ったことは評価でき、今後も効率的な運営に努めていく必要がある。
	今後の課題及び見直し内容	引き続き、市民に様々な文化芸術に接する機会や市民活動の場を提供するなど、文化芸術活動の振興に取り組んでいく。	

その他～「行財政改革大綱における見直し内容」の取組み状況	
見直しの分類	特に事業内容を精査する団体
公演の質と量を維持しながら、効率的な運営を行い、優れた公演事業の提供など文化芸術の振興を図った。次年度以降も演目内容を検討の上、事業展開を図っていく。	